

# みんななかまさ!

## 〈 きれいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 2、みんなで歌ううた   | ♪「このゆびとまれ」P.31             |
| 3、みんなでいのる    | 主のいのり P.92                 |
| 4、みんなで読むせいしょ | マルコによる福音書第16章1-8節          |
| 5、みんなで歌ううた   | ♪「アーメン アーメン アーメン」P.3       |
| 6、みんなで聞くおはなし | 「いのちまもれや まもれやいのち」すがさわ くにあき |
| 7、みんなで歌うさんびか | 讃美歌467番♪「おもえばむかし」P.76      |
| 8、けんきん       | ♪「いまそなえる」P.92              |
| 9、しずかなこころ    |                            |

## 〈今日の活動〉 イースターたまごであそぼう

### 〈 ほうこく 〉

29日(日)は、「はるのななくさ」でした。セリ(芹)、ナズナ(薺)、ゴギョウ(御形)、ハコベラ(繁縷)、ホトケノザ(仏の座)、スズナ(菘)、スズシロ(蘿蔔)。春の七草は、「七草がゆ」にして食べるなど、「食」を楽しむものですが、秋の七草は、花を「見る」ことを楽しむものようです。絵本「カラスノエンドウのたねがとんだ(かがくのとも2024年6月号)」(著:高柳芳恵、画:大橋慶子/福音館書店、2024年)を読んでくださいました。カラスノエンドウはあちこちで見かける“雑草”です。つるを伸ばして近くのものに巻き付くので、こもりした茂みになります。6月頃の晴れた日になると、その茂みからパチパチという音が聞こえます。カラスノエンドウが種をはじき飛ばす音です。足下をよく見ると丸い種がいくつも落ちていることに気づくでしょう。カラスノエンドウが面白いのは、サヤを指でつまむとパチンと音がして、その種を飛ばせることです。



活動は、園庭の満開の桜の木の下で、一句。「かんじって、なんもじ？」など、面白い質問が飛び交うなか、五・七・五の俳句を、頭をいっぱいひねって考えました。おやつは、もちろん「桜もち」でした。

### 〈 こどもといのる 〉

まだもう少し寒い日が続いていますが、子どもたちみんなが元気に過ごすことができますよう、祈ります。(やまじ だい)

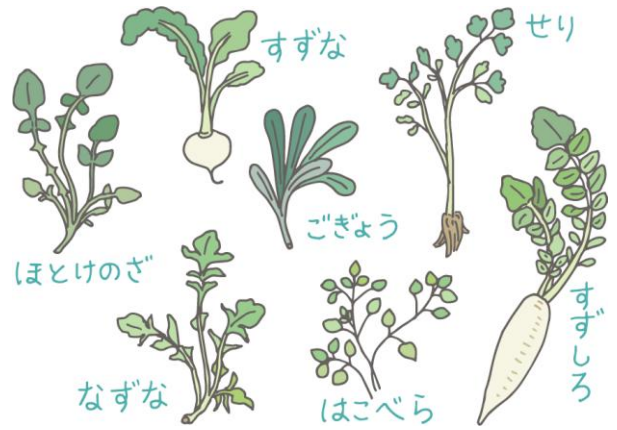
### 〈 おしらせ 〉

◇4月29日(水、祝)は、「みんなでカレーパーティ」です。お知らせを読んで、申し込んでください。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、44878枚から 25枚 集まりました。合計 44903枚 になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年3月29日(日)

3月生まれの誕生日のお祝いをしました



はるいつだ	おしえてくれる	さくらがね	(戸谷しゆうすけ)	さくらさく	さくらがさいた	きもちいい	(武澤こうた)
はるとして	さくらをみると	よいきもち	(野村みなと)	さくらさき	ひらひらおちる	きれいだな	(佐藤いちか)
さくらさく	みどりのえんき	はるうらら	(松本なつこ)	ランドセル	さくらのしたで	いろゆたか	(前田ひろし)
さくらさく	みんなでさくら	そだてるよ	(本間ともひろ)	はなひろい	さくらがつせん	はじまるよ	(坂本ようすけ)
さくらばな	おさらんさいて	きれいだな	(上野きりか)	さきほこれ	さくらまんかい	はるのあさ	(三丸わか)
さくらさく	だんごをたべる	こんえんで	(松本ゆきひろ)	いちりんを	われをわれをと	おうさくら	(菅澤くにあき)
あたたかな	かぜにゆられて	ふくふくと	(石田まゆみ)	まんかいの	げんきにさわぐ	こどもたち	(福中はる)
さくらばな	きれいにさいて	まんかいだ	(佐藤たいすけ)	ひらひらと	さくらははなが	まいおちる	(篠田ちはる)
さくらさく	あおぞらこども	うれしいな	(前田さだえ)	さくらさく	はるのゆうびん	とどいたよ	(金澤けいこ)
さくらばな	うえからみれて	うれしいな	(岡田ろく)	はるがきた	ふとみかけたよ	さくらたち	(岡田ふうこ)
きれいだな	はなびらきれい	いいさくら	(川崎はるき)	さくらみて	さくらがさいて	きれいだよ	(杉本ゆうき)
さくらみて	さくらでいっく	できたかな	(山地だい)	さくらさく	あかるいひぎし	むねおどる	(守屋ひろこ)
まんかいの	さくらのしたで	ランドセル	(戸谷りこ)	さくらちる	いっばいちって	うまったよ	(本間ゆうせい)
まんかいの	さくらのしたで	おはなみだ	(吉岡あかり)	さくらさく	みんなのさくら	さくらのき	(玉田かずま)
さくらさく	あたらしいはる	ピンクいろ	(脇本たけのり)	しながつき	かたよせあつて	さくさくら	(二宮ゆりこ)
ながれるる	さくらのゆくえ	といにけり	(坂本たくみ)	えんていの	さくらをみたら	げんきでる	(脇本さく)
さくらさく	しゅわのはなさく	ことともに	(児玉みちこ)				

第一六章 「さて、安息日あんそくにちが終おほつたので、マグダ  
 ラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行いつて  
 イエスに塗ぬるために、香料かうりようを買かい求もとめた。二そして週しゅうの  
 初はじめの日ひに、早朝そうちよう、日ひの出でのころ墓はかに行いつた。三そして、  
 彼かれらは「だれが、わたしたちのために、墓はかの入口いりぐちから石  
 をころがしてくれるのでしょうか」と話わし合あつていた。  
 四ところが、目めをああげて見みると、石いしはすすでにころがして  
 あつた。この石いしは非ひ常じょうに大おほきかつた。五墓はかの中なかにはいる  
 と、右みぎ手に真ま白しろな長ながい衣ころもを着きた若わか者ものがすわわつていいるののを  
 見みて、非ひ常じょうに驚おどろいた。六するとこの若わか者ものは言いつた、「驚おどろく  
 ことことはなない。あなあたがたは十じゅう字じ架かにつけらられたナザレ人びと  
 イエスイエスを捜さがしているのでああらうが、イエスイエスはよよみみがええつ  
 て、こここにはおおられなない。ごごらんらんななさい、こここが納おさめし  
 た場ば所しょである。七今いまから弟でい子したたちとペテロととの所ところへ行いつ  
 て、ここう伝つたえななさい。イエスイエスはああなあたがたたより先まにガリ  
 ラヤヤへ行いかかれる。かかねねて、ああなあたがたたに言いわれれたとおおり、  
 そそこでおお会あいいででききるでああらう、と」。八女おんなたたちはおおののき  
 恐おそれれななががら、墓はかかから出でて逃にげまつた。そそして、人ひとには何なに  
 も言いわわななかつた。恐おそろろししかつたかからである。